

都筑区連合町内会平成24年度6月定例会・報告事項

市連関係報告事項

①依頼事項

1. 横浜グリーンパワーモデル事業の実施：市民からの募集を6/25より開始する。HEMSシステム（自宅の部屋ごとや機器のエネルギー消費量を「見える化」出来る）を単体のみを設置する場合は、データ提供の約束をすれば、実質1万円の負担で16万円のHEMSシステムを導入できる。（募集1,400件）
2. 横浜市都市計画マスタープランの改正素案（市HP）につき市民意見を募集：7/13～8/13の間に、リーフレットハガキ、郵送、ファックス、電子メールで受け付ける。
3. 九都県市合同防災訓練：9/1（土）10:30～12:00 @みなとみらい21地区 耐震バース及び20街区南関東地震を想定し、模擬家屋や事故車両等を設置し、要救助者を救助・救出する大規模訓練
4. LED防犯灯設置事業：①各町内会に最低3本を設置 ②80～100本を連合枠として保有灯数に応じた灯数を設置申請（7/31締め切り、8月中に設置決定を連絡 山田連合に10～13本）③鋼管ポールの設置は区全体で4本しかなく、倒壊の危険性のあるものを優先
5. 町内会・連合町内会アンケート調査：7/31までに提出

②回覧・ポスター掲示依頼

1. 横浜みどりアップ計画の成果報告リーフレットの回覧
2. 生ごみの水切りについてのポスター掲示：生ごみの80%は水分であり、水分を減らすとごみの減量・臭いの発生が抑制される。7月・8月を集中啓発期間として、取り組みを推進する。

③連絡・報告事項

1. 今夏の電力需給状況及び電力料金の値上げ申請について
「需給」7・8月の予備率は、猛暑で4.5%、平年並みで7.7%であり、安定供給を確保できる。
「料金値上げ」徹底した経営の合理化を行うが、燃料費が1兆円の増加で、吸収しきれない。
2. 横浜市の節電・省エネ対策基本方針：「夏季のピークカット」・「通年の省エネ」 施設の輪番休館・道路公園照明の一部消灯・エレベーターの休止は行わない。市民は熱中症に注意してご協力を。
3. 資源集団回収による古紙回収率の向上：現在93%を平成25年度まで100%へ。

区関係報告・依頼事項

①依頼事項

1. 区ふるさとづくり委員会として実施する「東日本大震災義援金」の募集：各町内会などで主催する夏祭りなどのイベントにおいて、義援金箱の設置をお願いする。義援金箱には“義援金募集ステッカー”を配付するので、7月以降地域振興課窓口に取りに行く。義援金は必ず横浜銀行港北ニュータウン南支店の口座（都筑区ふるさとづくり委員会）に振り込むこと。希望者にはうちわも配布する。
2. 24年度更生保護協会賛助金の募集：1世帯20円を目安に募集する。8/31までに農協より振込。
3. 13回都筑区チャリティゴルフ大会 協賛のお願い：連町あたり1万円を7月区連会で集金。
4. 「つづき あい基金」助成活動発表会：7/21（土）14:00～16:00 @区役所6階大会議室にて

②配付等依頼事項

1. 区地域福祉保健計画情報誌「つづき あい通信」第3号の配付

③連絡・報告事項

1. 都筑区の治安状況：5月は犯罪件数128件で、昨年対比31件の減少。強姦が2件発生。空き巣は1件で昨年対比8件の減少。
2. 119情報：5月火災は5件で、車両火災が2件、建物火災が3件。
3. 川和児童ホームの開所：6/2に市内で10館目の児童養護施設「川和児童ホーム」が開所した。保護者のいない児童や虐待されている児童など、擁護を要する児童の入所施設で定員は30名。
4. 防犯活動のための研修会及び青色回転自主防犯パトロール隊員講習会 申込み締切り7/6(金)
 - ・防犯活動研修会：7月10日(火)14:00～15:30 @区役所6階大会議室 参加は町内会2名まで
 - ・青パト隊員講習会：7月10日(火)15:30～16:00 @区役所6階大会議室 2年経過の方は要受講
5. 都筑区区民まつり 企業への協賛金の依頼訪問のお願い：過去3年間にご協賛いただいた企業に6/21に協賛依頼状を送付する。訪問プッシュは企業レスポンスを見てから。

地域活動検討会(6/21 16:15～17:30)

1. 連合町内会規約見直し

6月にメンバー(荒田リーダー・小島・八木・長沼・村田・井上晴)を決めた。7月より検討開始して、10月に中間報告、11月に最終報告を。

2. 今後の地域検討会の進め方について

半年毎に月別の発言テーマを決める。設定したテーマについては、連長15名全員が夫々連合の代表者として一人3分間の発言を行う。ここでは夫々の発言を尊重して、誹謗中傷はしないこととする。

連町会長からの発言：連町加入のメリットは？ 組織・エリアに大小格差あり」 連町会長の選任方法」 連町会長のローテーション」 連町会長候補には会長以外に前会長も推薦で加えた」 連町に事務局制を採用して、副会長3名を担当制にして役割分担」 全員参加の町内会3地区と参加50%の4地区で構成、新しい町内会は役員が1年交代、連町に事務局は一案」 自分の町内会は大きくて負担が大、連町会長兼務は大変」 6町内会のうち、旧は4、新が2、バランスが難しい、互選で連町会長を決めた」 連町会長は推薦委員会で、連町行事が多く(盆踊り・敬老会・運動会)会費は170円/世帯・月で潤沢」 小さい町内会で50円/世帯、連町加入のメリットの質問あり、町内会長は毎年変わる、連町定例会での区役所との意見交換は連町のメリット」 検討テーマの方向はよい、関心度が人により違うので関心度大なテーマより議論したら、連町会費は200円/世帯・年、3役と事務局長で役割分担している、副会長も時に区連会に出て勉強し、数名の後継者は存在」 未加入町内会取り込みに関心、若い組織の取り込みに失敗して役員に穴が開いた」 など

平成24年度 都筑区更生保護協会 総会

平成24年6月21日13:00～13:30 @区役所6階大会議室

平成24年度予算：

歳入：賛助金97万円(世帯当り20円)＋助成金8万円(バザーより)＋繰越金10万円＝115万円
歳出：活動費60万円(街宣)＋団体助成金40万円(保護司・女性会)＋他に15万円＝115万円